

# ひとり1改革運動

## 「省エネルギー・節電を推進しよう」改革賞

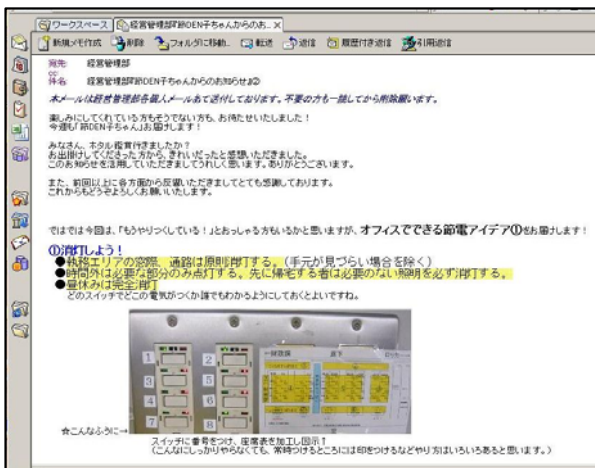
『節DEN子ちゃん』から節電アドバイスをメールで配信

【経営管理部 総務課】



部内が一体となって節電に取り組む雰囲気を作り、積極的な取組が行われるよう、経営管理部独自に、『節DEN子ちゃんからのお知らせ』として、部内各個人あてに週1回程度節電アドバイスのメールを配信し節電を呼びかけるとともに、アイデアを募集しました。  
その結果、部内の意識向上と取組の共有化を実現しました。

【メールのサンプル】



### 取組で苦労した点、工夫した点は？

- ・テーマや内容は比較的すぐに決まりますが、楽しく端的に伝えるための構成に毎回苦労しています。
- ・一方通行の押し付けにならないよう、節電アイデアやメールに対する意見や感想を募集しています。

### 取組の効果として実感している点は？

- ・配信後に反応があり、『節DEN子ちゃんからのお知らせ』がみなさんに読まれ、親しまれていることを感じています。
- ・部内職員が節電情報を共有し、ねらいのひとつである取組に対する一体感が生まれ、“やらされる節電”ではなく、“楽しんでやる節電”の雰囲気が醸成されています。



【節DEN子ちゃん】

静岡県地球温暖化防止活動推進センターから一言

職員が「楽しんでやる節電」に取り組むきっかけづくりになる良い取組です。メールが一方通行にならないようにしたり、楽しく端的に伝えるために発行担当者が努力しているところが評価できます。

# ひとり1改革運動

## 「省エネルギー・節電を推進しよう」改革賞

### 事務所内に節電部会を設置・東部総合庁舎での節電対策

【沼津財務事務所 総務課】



東部総合庁舎は総合庁舎の中で、唯一、電力使用制限令の対象施設(※)となり、節電対策に危機感を持っていました。

そこで、所内に節電部会を設置し、部会員(各課1名)を中心に、節電対策のアイデア出し、普及啓発等を行うことにより、目標の共有と意識醸成を図りました。

さらに、庁舎内の各事務所、入居団体にも同様の意識を共有してもらうよう、節電責任者等を集めての会議を開催したほか、「節電パトロール」の実施、メルマガ「東部総合庁舎節電通信」など様々な取組をしています。

その結果、目標以上の節電を実現しています。



【節電責任者によるパトロール】

#### 取組で工夫した点は？

・東日本大震災直後には計画停電が実施され、これまでも暖房の停止等の節電対策を実施していましたが、照明の部分消灯、電気給湯器の使用制限等、更なる取組が必要となりました。そこで、節電の必要性、節電結果(削減数値)等を理解してもらうよう、会議の開催、SDO等による情報発信等を迅速かつ積極的に行いました。

#### 今後に向けたさらなる取組は？

・節電行動計画の実施状況を点検、分析、公表し、8月以降に更なる改善・徹底を行います。

※電力使用制限令の対象施設は、7/1～9/22の平日の9時から20時に使用できる最大電力が昨夏の最大電力の15%に制限される。東部総合庁舎の上限は547kW。

	H22		H23		対前年比	
	最大 使用電力	使用 電力量	最大 使用電力	使用 電力量	最大 使用電力	使用 電力量
3月	487	112,106	449	94,507	▲7.8%	▲15.7%
4月	274	90,139	262	71,825	▲4.4%	▲20.3%
5月	252	84,514	218	71,138	▲13.5%	▲15.8%
6月	569	104,606	562	80,693	▲1.2%	▲22.9%
7月	643	148,394	415	99,929	▲35.5%	▲32.7%

静岡県地球温暖化防止活動推進センターから一言

最大使用電力単位:kW、使用電力量単位:kWh

節電の目標を達成するために、きめ細かい節電をしている良い取組です。総合庁舎内の全ての所属・団体を巻き込み、庁舎全体で目標を達成していることが評価できます。



# ひとり1改革運動

## 「省エネルギー・節電を推進しよう」改革賞

### 臨時窓口の設置で節電

【沼津財務事務所 直税第1課】



法人2税の申告書については、総合庁舎5階の財務事務所内で受け付けており、来所者はエレベーターを利用していました。

東部総合庁舎は節電のためエレベーターを1基停止していますが、さらに電力使用制限令の対象施設となったためさらなる節電が求められていました。

そこで、申告の集中する月末に庁舎1階玄関に臨時窓口を設置して、来所者のエレベーター利用を回避して節電につなげるとともに、来所者の利便性向上を実現しました。



#### 取組の効果として実感していることは？

- ・5月末は75人、6月末は42人を臨時窓口で受付し、多くの来所者の利便性を向上しています。
- ・さらに、申告書受付と県税端末入力の場所が分かれたことで、受付事務と入力事務の錯綜回避や申告書処理事務の効率化が実現しています。
- ・また、慢性的な駐車場不足にある東部総合庁舎の駐車場の回転率の向上に寄与しています。

#### 今後に向けたさらなる取組は？

- ・法人2税の申告書の提出方法には持参、郵送などのほかに、電子申告(e-LTAX)の方法があり、今後は、財務事務所へ出向かなくてもよい電子申告(e-LTAX)の普及を更に図っていきます。



【窓口での受付風景】

#### 静岡県地球温暖化防止活動推進センターから一言

庁舎の利用者の動きを考えて節電に取り組んでいる良い取組です。節電の取組が、県民サービスの向上に結びついている事も素晴らしいです。

# ひとり1改革運動

## 「省エネルギー・節電を推進しよう」改革賞

### 『緑のカーテン』の設置と配布

【農林技術研究所 総務課】



農林技術研究所として、少しでも節電に協力するため、「緑のカーテン」の設置を計画し、ゴーヤの苗を育成しました。

余った苗は、全庁掲示板で呼びかけ他の事務所に配布しましたが、反響が大きかったため、ゴーヤとヘチマを追加で育成し、最終的に13所属へ109株の苗を配布しました。

その結果、自所属のみならず、多くの所属での緑のカーテンによる節電に協力しています。

【配布した苗】



#### 取組で工夫した点は？

・できる限り経費を抑えなければ意味が無いので、所内の使われていないプランター、土、肥料、ネットの資材等を所内の他部署から調達するなど、所全体を巻き込みました。

#### 取組の効果として実感している点は？

・ゴーヤの苗は売り切れとなる販売店も多く、実施を検討していた所属の背中を押すことができたのではないかと感じています。

・緑のカーテンは目に付くため「節電実施中」のPR効果があり、職員が電気器具のスイッチをこまめに切るようになるなどの節電意識が高まりました。

静岡県地球温暖化防止活動推進センターから一言

自分の所属の特性を活かして緑のカーテンを広めている良い取組です。自分の所属だけでなく、実施を検討していた他の所属にも協力していることが評価できます。



【緑のカーテン】



# ひとり1改革運動

## 「省エネルギー・節電を推進しよう」改革賞

### 道路局における節電の取組

【交通基盤部 道路局】



職員自身の問題として積極的に取り組もうという意識が道路局全体で醸成されるように、「道路企画課は35.7%、道路整備課は38.9%、道路保全課は50%消灯」「12時20分以降のテレビ消灯」「局内節電アイデアコンクールの実施」「非常勤、臨時職員からも節電アイデア聴取」「機器類の使用頻度の点検と待機電力の削減」など様々な節電に取り組みました。その結果、局内の意識向上と自主的な取り組みによる節電を実現している。

【道路局節電標語コンテスト受賞者】



#### 取組で工夫した点は？

- ・最初に行った「節電標語コンテスト」では、優秀作品に局長表彰を行い、その作品を張り出して「目標の共有」を図ることで、局内の節電に対するモチベーションを上げました。
- ・「局内節電アイデアコンクール」では、提出されたアイデアを、できるものとできないものに仕分けし、できるものから具体的に実行していくことで、応募者側の真剣さに応えました。

#### 取組の効果として実感している点は？

- ・取組を始めてから、昼休み中の消灯やテレビの電源オフが自主的に行われるようになりました。
- ・また、「家庭での節電にも注意するようになった」との声も聞かれるようになりました。
- ・局ごとの電力使用量のデータがないため、成果を数値ではっきりと示すことができませんが、執務室内の照明の消灯や昼休み中のパソコンや不使用機器の電源オフ、時間外勤務の縮減で、かなりの節電になっていると思われます。

#### 静岡県地球温暖化防止活動推進センターから一言

局内の節電意識を高めて、それを自主的な取り組みに結び付けている良い取組です。局内のモチベーションを上げるために、表彰をしたりアイデアを具体的に実行していることが評価できます。

# ひとり1改革運動

## 「省エネルギー・節電を推進しよう」改革賞

### 蛍光灯の間引き及び消灯

【教育委員会事務局 財務課】



消灯による節電に取り組むにあたり、西館ではラインによるオンオフのみで細やかな消灯ができませんでした。そこで、通路及び窓際のラインは、スイッチで調整できるため常時消灯とし、職員の机上のラインは1本1本照度計で確認しながら間引きしました。その結果、執務スペースの蛍光灯59本のうち、常時消灯15本、間引き20本とし、全体の約60%を消灯し、節電に貢献しています。



【室内の様子】

#### 取組で苦労した点は？

・雨天の日を選んで照度測定を依頼して間引きを実施し、規定を上回る照度を確保しています。

#### 取組の効果として実感している点は？

- ・窓寄り2列消灯していますが、昼間は自然光で1,200ルクス程度確保されており、相当数の消灯が可能であることが分かりました。
- ・現在は、多少の暗さにも慣れ、職員の持ち前の明るさでカバーしています。

静岡県地球温暖化防止活動推進センターから一言

蛍光灯の消灯をきめ細やかに行っている良い取組です。照度の測定結果が見える化したことで細やかな節電に貢献しているのが評価できます。

